

高齢者福祉論演習

[演習] 選択 60時間 4単位

《担当者名》○大友芳恵 [otomo16@hoku-iryo-u.ac.jp]
中村和彦(非) [z00520@hokusei.ac.jp]

【概要】

福祉サービスが提供されている現場をフィールドとして、より実践的で実効的な社会福祉を進めるための方策について、とくにリジリエンスの視点から研究を進める。

具体的には、学生の関心領域を中心に据えて授業を展開する。

【学修目標】

人の尊厳と権利を基軸とした、ソーシャルワークのあり方について考察するとともに、望ましい今後の方向性について提言できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1～10	研究計画検討	先行研究をもとに、種々研究方法について検討する	大友 中村
11～25	研究計画立案	学生の研究課題を明らかにするための研究方法を選択、研究計画を立案する	大友 中村
26～30	予備調査	前述の研究計画に基づいて、予備調査等を行い、その妥当性、適切性について検討する	大友 中村

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

文献検討40%、計画作成30%、予備調査・実験等の実施30%

【学修の準備】

各回のテーマに沿った文献、資料等についてよく読んで理解したうえで臨むこと